

正しい手順で 防ごう！鳥獣被害

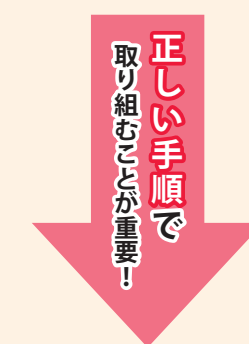
①なぜ被害が発生するのか？

イノシシなどの野生鳥獣が人里にあらわれる一番大きな理由は、「人里が1年間を通して、美味しく、大量に、確実にエサがある環境だから」といわれています。人里に近づくうちに、魅力的で栄養豊富なエサがあることを学習し、たびたび出没します。本来ならばエサ不足となるはずの個体が冬を生き延び、春に繁殖するのです。



②どうすれば被害は防げるのか？

イノシシなどの野生鳥獣による被害を減らすには、捕獲だけに頼るのではなく、人里や農地に近づけないように次の3つの対策を「正しい手順」で「総合的」に取り組む必要があります。



①寄せない対策（集落環境整備）

収穫しない柿や栗、出荷せずに放置された野菜などを撤去する。
人里や農地周辺の潜み場となる藪や茂みを刈りはらう。

②入れない対策（自己防衛）

農作物を防護柵で囲い、野生鳥獣に味を覚えさせない。

③捕まえる対策（加害獣の捕獲）

農地や人里に執着する野生鳥獣を捕まえる。



③防護柵の設置を支援しています

農作物を鳥獣被害から守るには、農地を防護柵で囲うことが基本であり、効果的な方法です。市では、防護柵の設置にかかる費用（資材購入費）の一部を補助しています。

対象者	対象となる事業	防護柵の種類	要件	補助率および補助額
農業従事者、 農業法人など	農作物を鳥獣被害から守るための防護柵の設置 ※工賃や配送料などは対象ではありません。 ※補助金の交付を受け防護柵を設置したことがある農地は、交付確定日の翌日から8年を経過するまでは、補助対象になりません。	個別柵 ※個々の農業従事者などが整備する防護柵	設置延長 200m 未満	1 / 4 (1) 電気柵 125 円 / m以内 (2) 金網柵 250 円 / m以内
			設置延長 200m 以上 または 受益者3戸以上	1 / 2 (1) 電気柵 250 円 / m以内 (2) 金網柵 500 円 / m以内
		集落柵 ※集落として一体整備する防護柵	3 ha 以上の農地かつ 受益者3戸以上	3 / 4 以内

④自治会として取り組む対策（集落環境整備など）を支援しています

集落内の被害場所や出没の痕跡などを記録し、必要な対策を考えることも大切です。市では、自治会として集落環境整備や集落柵の維持管理などの鳥獣被害対策に取り組む場合に、費用の一部を補助しています。

対象者	対象となる事業	対象となる経費（主なもの）	補助率および補助額
自治会など	①緩衝帯整備 ②放置果樹除去 ③集落柵維持管理 ④鳥獣の潜み場等除去 など	耕運機、草刈機等借上料 燃料費、替刃代 作業委託料、傷害保険料 防護柵修繕用資材（集落柵のみ） など	上限 20 万円 ①、④：42 円 / m ² ②、③：対象経費の 2/3 以内

【注意事項】 補助金の交付決定前に実施・購入した費用は対象となりません。申請をお考えの場合は、事前にお問い合わせください。被害相談にも応じています。

瀬戸内癸見伝

巻之百五十三

デジタル技術による

文化財の魅力発信

デジタル技術による文化財の記録保存

文化財の記録保存方法として、従来は写真や図が一般的でしたが、近年はデジタル技術を活用した三次元データが注目されています。

三次元データは、立体である文化財の情報を余すことなく記録保存でき、作成技法の研究や被災時の復旧、模型の作成、VR・ARを用いた仮想空間上での公開などさまざまな活用方法があります。

市では実際に、国宝「太刀無銘一文字（山鳥毛）」の三次元データを制作し、間近で鑑賞できるVRコンテンツを備前長船刀剣博物館で公開しています。



瀬戸内市歴史まちづくり財団 Sketchfab 3D モデル公開画面

閲覧はこちらから



Sketchfab

寒風陶芸会館の展示資料

寒風陶芸会館の展示資料の中では、水落古墳（邑久町本庄）から出土した陶棺や、寒風古窯跡群（牛窓町長浜）出土の甕の三次元データを作成・公開しています。

データ上では普段見えない脚の裏側や粘土を積み上げて作った様子などを見ることができ、製作技法を確認する上でも活用できます。

須恵古代館の展示資料

須恵古代館で展示している資料の中では、南浦2号墳（長船町飯井）の台付子持壺や西谷遺跡（長船町西須恵）の甕など10点の三次元データを作成・公開しています。

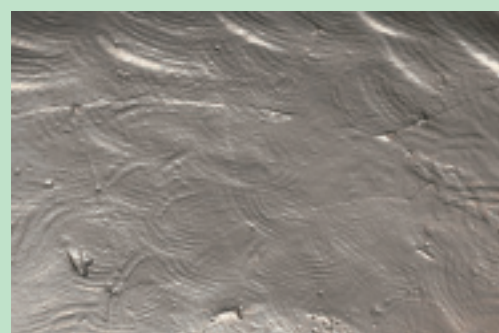
展示では見えない壺や甕の裏側・内部を鑑賞でき、甕については、内部の当て具痕という、製作時に粘土の空気を抜くために叩いた際に当てた道具の痕を見ることが出来ます。

今後の展望

現在、市で作成しているデータは、専用ソフトを用いてパソコンで作成していますが、近年はスマートフォンで

も簡単に三次元データを作成できるようになりました。

今後は、市の収蔵資料だけではなく、市内に点在する古墳や石造物などのデータを作成し、より多くの文化財の記録保存と魅力の発信に努めていきます。



西谷遺跡出土甕の当て具痕



南浦2号墳出土台付子持壺